

■EU：欧州委員会、2030年のエネルギー効率目標として30%を提案

欧州委員会は2014年7月23日、2030年に向けたエネルギー効率目標を30%とする提案を行った。当該目標に法的拘束力を持たせるかどうかはまだ決まっていない。欧州委員会のエッティンガーエネルギー政策担当委員は、「この提案は、経済的な方法でEUのエネルギーセキュリティ、イノベーション、持続可能性を実現するものであり、野心的な目標ではあるが達成可能である。我々の目的は、市場へのシグナルを発信することで省エネ技術等の投資を引き出し、ビジネス、需要家、環境の面で利益をもたらすことである。」と述べている。欧州委員会は、これまで、2030年までの温室効果ガスの削減目標を1990年比で40%、エネルギー消費に占める再エネの割合を27%とする提案を行っており、今回提案されたエネルギー効率目標とあわせて、2014年10月に向けてEU首脳間の合意を目指す。これらの目標は、気候変動に関する目的のみではなく、今日のウクライナ危機に鑑み、ロシアへのエネルギー依存を低減するうえでも重要な役割を果たすものとされている。